森下真樹

Maki MORISHITA

幼少期に転校先の友達作りで開発された遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上で作品を上演。現代美術家 束芋とのコラボレーション作品『錆からでた実』や、MIKIKO（演出振付家）、森山未來（俳優・ダンサー）、石川直樹（写真家）、笠井叡（舞踏家・振付家）という全く異なるバックグラウンドを持つアーティストが各楽章の振付を担当する自身のソロ「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」など、ジャンルを超えた幅広い活動をする。100人100様をモットーに幅広い世代へ向けたワークショップや作品づくりを行う。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不能、奇想天外ワールドが特徴。森下スタンド主宰。

Photo:石川直樹

ホームページ　http://maki-m.net/
E-mail　dance@maki-m.net
在住地　東京都
出身地　出生地 大分、本籍 熊本、育ち 松山、千葉、現在東京都在住

活動歴・受賞歴

○活動歴

〈2016年～2021年〉

・現代美術家 束芋とのコラボ作品「映像芝居『錆からでた実』」を発表＠東京芸術劇場、全米4都市ツアーへつながる
・市民参加型「オーケストラで踊ろう『運命』」@可児市文化創造センターにて振付を担当。参加者9歳～77歳の感動の舞台が忘れられずソロで全楽章踊ることを決意。テーマは「運命」、ずっと自分で自分を振付してきたが、自分の知らない世界を体験せねばと各楽章に振付を依頼。翌年ソロ公演を初演し、以降様々な形で展開
・満島ひかり（女優）×玉井夕海（音楽）×森下真樹（ダンス）パフォーマンス＠清水寺
・大植真太郎/森下真樹（ダンス）×田中馨（音楽）「どこをどうぶつる」発表＠北九州芸術劇場ほか動物園
・"Tokyo Dance"にて招聘作品「東京コシツ」フランス語ver.上演＠パリ日本文化会館
・さいたまゴールド・アーツ・クラブでのノゾエ征爾演出作品にて平均年齢73歳の約750名を振付
・神奈川県立青少年センタースタジオHIKARIでのこけら落とし公演「てんこもり」上演
・阿波踊り×コンテンポラリーダンスにて振付/演出＠あわぎんホール
・伊藤キム×森下真樹「マキム！」発表＠東京芸術劇場
・南郷アートプロジェクトを10年に渡り参加し、伝統芸能や郷土芸能や地元の消防団との作品を発表し「DANCE×JAZZ Episode.0」で幕を閉じる

ライフワークとして
★「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」
2017年森下スタジオ初演、東京芸術劇場（日本フィルハーモニー交響楽団と第1楽章のみ）、2018年スパイラルホール（ピアノ：今西泰彦）、2019年岐阜県美術館（映像作品配信）、2020年城崎国際アートセンター（ピアノ：碓井俊樹）、岩手県民会館（全楽章オーケストラ生演奏）
★「ベートーヴェン交響曲第9番全楽章を踊る」
2019年スタジオHIKARI初演、2021年あわぎんホール（全楽章オーケストラ生演奏）、宮古市文化会館

○受賞歴

〈2014年〉第8回日本ダンスフォーラム賞受賞

ワークショップ歴

「○○(地名や劇場名)☆デビュタント」「森下真樹うずうずダンスワークショップ」「森下真樹とことんダンスワークショップ」「ことばで踊る、ことばを踊る」などと題しこれまでに30都市以上で開催。東京都文化発信プロジェクト「パフォーマンスキッズ・トーキョー」では子どもたちと作品をつくり、小学校体育館やホールなどで発表。その他、高齢者施設、病院、特別支援学校、児童養護施設、美術館などでもワークショップ経験多数。また、地元オヤジうずうずダンサーズを結成し、公演へ向けたワークショップも行う。ダン活(支援)ではこれまでに、南相馬市ゆめはっと、キラリ☆ふじみ、松山市民会館、小美玉市小川文化センター、白鷹町文化交流センターあゆーむ、はつかいち文化ホールさくらぴあ、浜田市 石央文化ホール、茅野市民館、文化フォーラム春日井、八戸市南郷文化ホールなど10ヶ所実施。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ共通

子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、ココロもカラダも開放し元気になるワークショップが可能。対象者、人数、時間、回数など着地点を相談しながらプランを立てる。

これまでの例：

★「森下真樹うずうずダンスワークショップ」
～うずうず発散！カラダを使って遊ぶ感覚でいつのまにかダンス～
〈対象〉うずうずしている人（ダンス経験不問）
〈キャッチコピー〉最近さえない人、さびしがりやな人、元気いっぱいな人、ココロ踊りたい人、踊るチャンスがなかった人、もっと踊りたい人、踊るのがニガテな人、などなど、とにかくうずうずして仕方のない人、ダンスをしよう！というよりもいつのまにかダンスしていた…という体験をぜひご一緒に。これもダンスです！
〈目的〉純粋にカラダを動かす楽しさを知る、音楽に合わせて動くことだけがダンスではない！日常の些細なしぐさや動き、発想がダンスへとつながる体験をしてもらう。100 人 100 様、答えは決してひとつではなく、色々な見方ができ、視野が広がるようなことを遊びながらできるワークショップを目指す。

★「○○(地名や劇場名)☆デビュタント」
～舞台デビューしてみよう！～
＜対象＞子ども～高齢の方（ダンス経験不問）
＜内容・目的＞森下の自己紹介ダンス作品「デビュタント」をキッカケに、参加者それぞれの自己紹介ダンス（カラダで名刺をつくる「カラダ名刺」など）、自分にしかできない 100 人 100 様のオリジナルダンスに挑戦。※オヤジに特化した「オヤジうずうずダンス」もあり。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品・市民参加作品共通

ソロやデュオ作品にワークショップ参加者とのシーンを織り込んだ公演や、いくつかの作品を劇場ツアー形式で展開させることで空間を活かし、観客とのコミュニケーションが図れるような公演などをウリとする。劇場のあらゆる空間に積極的に関わり、フレキシブルに対応が可能。

★『これって、ダンスなの？！』
これって、ダンスなの？！と題し、森下の代表作ソロ『デビュタント』や『コシツ』やデュオ作品、ワークショップ参加者とのシーンを盛り込み、笑あり、涙あり、全身で体験していただけるようなエンターテイメント的なダンス公演。子どもからおとなまで楽しめるドラマある一夜を演出。
▶上演時間：約60分　▶出演：森下真樹ほか

★「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』を踊る」
～4人の振付家が1人のダンサーの身体を通して描き出す「運命」～
▶上演時間：約60分　▶出演：森下真樹
▶振付：第1楽章：MIKIKO　第2楽章：森山未來
第3楽章：石川直樹　第4楽章：笠井叡
※上演可能な条件はいくつかありますが、空間によってアレンジ可能な部分もありますので相談しながら進めさせていただければと思います。

★「ベートーヴェン交響曲第9番を踊る」
カンパニー森下スタンドによる群舞作品ですが、3名～上演可能（5名以上の場合は全楽章可能）
▶上演時間：全楽章の場合は約75分
▶演出/振付/森下真樹
▶出演：森下真樹ほか
～ベートーヴェンの音楽をムシャムシャ食べて、血や肉や魂に変える。逆境を乗り越え新境地へ、苦悩を乗り越え歓喜へ…。現代（いま）を生きる力はどん底な世の中から喜びを掴む。さぁ、カラダを奮い起たせよ！～